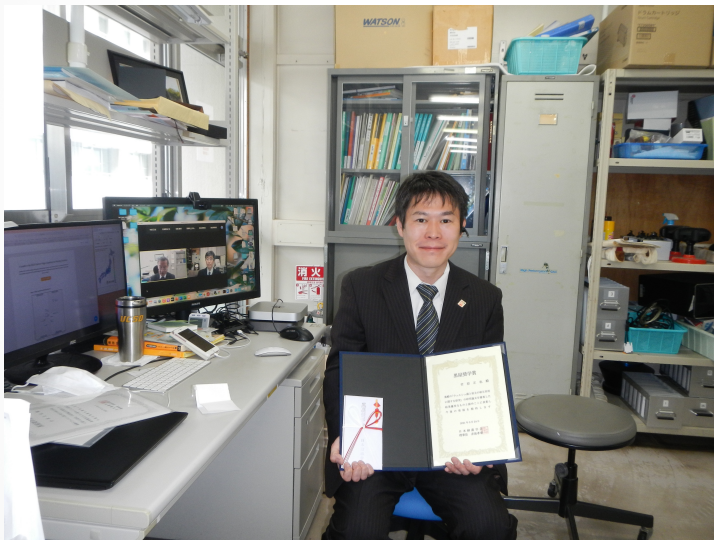


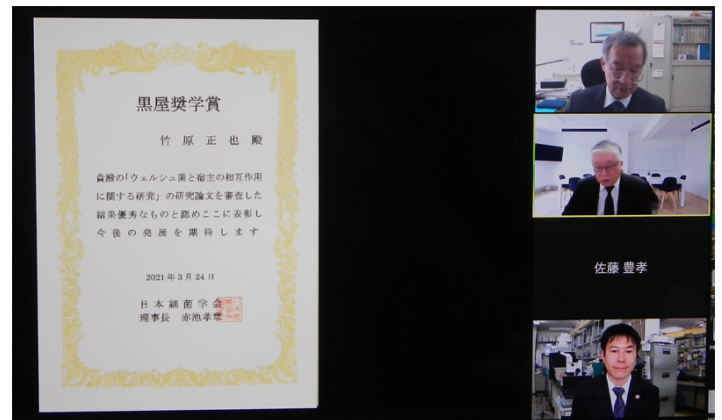
2021年3月24日
第94回日本細菌学会総会
黒屋奨学賞 受賞
竹原 正也 講師

題 目

ウエルシュ菌と宿主の相互作用に関する研究
竹原講師が、黒屋奨学賞を受賞しました。輝かしい功績です。



オンライン受賞式



審査委員長から受賞理由の説明

竹原正也 氏
(徳島文理大学薬学部微生物学教室)
「ウエルシュ菌と宿主の相互作用に関する研究」

竹原氏は、ウエルシュ菌と宿主の相互作用に着目した研究を行い、本菌のα毒素が、骨髄において好中球の分化を抑制すること、これには脂質ラフトが関与すること、α毒素は顆粒球コロニー刺激因子に対する受容体を分解することで好中球の増殖を阻害すること、さらには、α毒素は敗血症ショックを促進することを明らかにし、本毒素が多彩な作用を示すことで宿主の防御機構を攪乱することを示した。これらの研究は、試験管内で得られた成果を、実験動物を用いた実験によって発展させてきており、研究の一貫性、方向性、ならびに新規性は評価に値する。

会員歴は6年であるが、総会と中国・四国支部総会においてほぼ毎年筆頭著者として研究成果を発信しており、本学会活動の面でも評価に値する。

今後も引き続き、日本細菌学会の発展に貢献が期待できることから、黒屋奨学賞受賞に相応しいと判断した。

細菌学会総会長、理事長、
他2名の受賞者との記念撮影

